

1 社会・治安情勢

社会・治安情勢は国内の経済状況に左右される傾向が強いが、海外直接投資や非伝統的製品の輸出の伸びを受けて、ザンビアのマクロ経済は引き続き好調に推移している。一方で、貧困率・失業率（特に顕著）は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に貧困や失業に起因する犯罪が発生している。

また、都市への人口流入と当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているとの情報もあり、それらが犯罪に使われる恐れもある。

さらには、1月20日に行われる大統領補欠選挙に向けて、各政党では選挙キャンペーンを各地で実施しており、政党同士の支持者間の衝突事件等が発生する可能性も排除されない状況となっており治安の悪化が懸念される。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が発生しており、在留邦人においては、常に注意を呼びかけている。また、その地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっているといわれている。さらには、若年層の新規雇用低迷、生活インフラ整備の不足等に対し、多くの人々が不満を抱えており、これが何らかのきっかけで抗議や暴動につながる可能性も排除されない。

(2) 邦人被害事案

10月18日深夜、ルサカ市内の在留邦人宅において、同邦人が契約している警備会社派遣の警備員2名の内1名が、同邦人の車両1台を盗難する事件が発生した。（後日警備員は警察によって逮捕されたが、車両は戻ってきていない）

(3) 邦人以外の被害事案

ア 住居侵入強盗

ルサカ市内では、武装集団が住居に侵入し、銃器等で住民を脅し、金品等を強奪する事件が多数発生している。

イ 窃盗事件

11月6日、ルサカ市内インドザンビア銀行において、利用客が現金47,000クワチャを引き出し、銀行を出たところで武装した2人組に現金を強奪される事件が発生した。

ウ 車両盗難

ルサカ市内では多数の車両盗難及び車両強奪事件がしており、よく在留邦人が利用するマンダヒルショッピングモール及びアーケーズショッピングモールにおいても車両盗難が発生している。

エ 強姦

10月18日、ルサカ市内チャワマコンパウンド地区において、3件の強姦事件が発生した。この他、ルサカ市内では同様の強姦事件が多数報道されている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当館では把握していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし。